

# 「測量の日」記念 体験学習

## 小学生が測量技術を実感

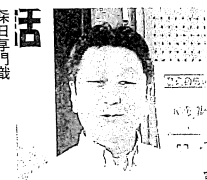


開会挨拶する  
滝下会長

京測協



山口校長  
(中筋小学校)



磯原所長  
(由井東士小)



森田専門職  
(近畿地方測量部)



『測量と地図のお話』を講演



協会員が児童に測量技術を説明

6月3日は「測量の日」。一般社団法人京都市測量設計業協会(京測協)滝下完好会長は、5月29日午前、綾部市大倉町の綾部市立中筋小学校、山口剛校長と、6年生を対象に令和元年年度「測量の日」記念事業「測量体験学習」を行った。

次代を担う子どもたちに、生活の中で使われている測量について知ってもらい、最新の測量機器を使い「測量」について楽しく学習してほしいのが目的。平成20年度から毎年6月3日の測量の日の前後に府内各地の小中学校で実施しており、国土地理院近畿地方測量部、京都市が後援。今回12回目となる今回は、協会員81人が事業実施に参加した。

集合した中筋小学校6年生50人を前に、開会挨拶した滝下会長は、私たちがこの「測量の日」の日に、1年に1回しか訪問をしません。京都市には400近い小学校があり、全部回るとは400年かかるといってしまっても過言ではないから、今回「測量の日」で初めて作られた地図は江戸時代

飛ばして、精密な立体の地図を作ったりしています。今日は歩いて測るとのことから、測量の体験学習を行います。不思議に思われるかもしれませんが、測量は、思っているよりも面白いんですよ。そして、6年生の長い思い出の一つになったんじゃないかと語りかけた。

次に山口校長が「実は皆さんは1年生から測量の勉強をしています。1年では定規とコンパス、2年では定規とコンパス、3年では定規とコンパス、4年では定規とコンパス、5年では定規とコンパス、6年では定規とコンパス、と語りかけた。

続いて、国土地理院近畿地方測量部の森田和幸測量士が「測量と地図のお話」について講演。自身の南極観測の体験や、地図の歴史の種類を紹介し、地図には測量技術が活用されていることを分かりやすく説明した。

その後、校庭で実施した測量体験学習では、まず「私の学校は地球のどこ」で、学校の敷地内に、事前に測量して京測協が測量体験学習記念として寄贈・設置した、学校が位置(経度・緯度・標高)が示されている標柱の除幕式を、滝下会長と山口校長児童が行った。

「歩測コーナー」では、児童が20mの距離を歩いたり、大人の1歩の幅を測り、距離ポールの投(コーナー)では、ボールを投げたり、その距離を「歩測コーナー」で測り、2歩の距離を歩いたり、距離を測った後、測量機器(トータルステーション)で測った数値との誤差を体験してもらった。

「GPSで地球を描くコーナー」は、事前にイラスト等を決め、GPSを携帯し、そのイラスト等に沿って校庭を歩き、その軌跡をパソコン上で復写。イラストの精度や使われ方を体験してもらった。

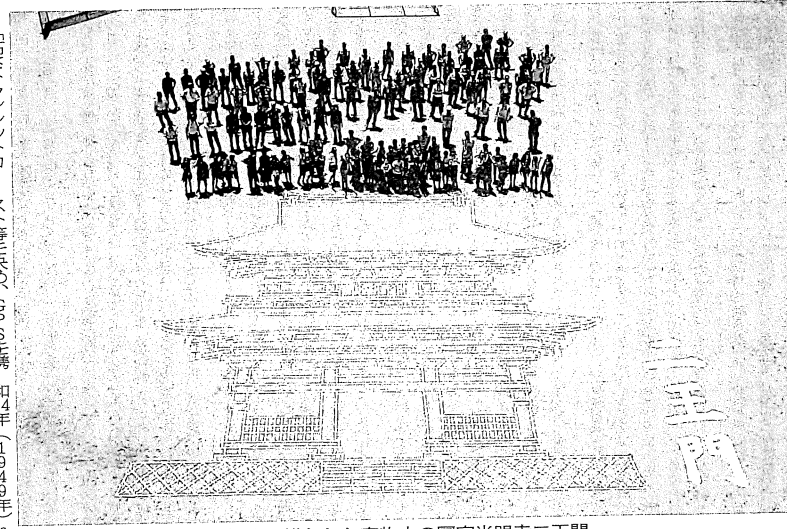
「絵を描くコーナー」では、協会員が早朝から測量機器を操作し、正確な物体の建物(今回は綾部市歴史博物館)の測量体験学習も「近代測量150年記念事業」として実施された。



小学校に寄贈した標柱の除幕式



測量機器を実際に使用した体験学習

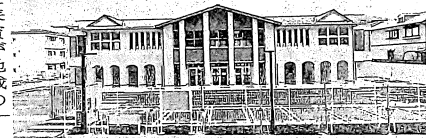


校庭に描かれた実物大の国宝光明寺二王門

身近な出来事を  
御寄せ下さい  
編集部(075)  
541-10328番

# 19年度「測量の日」記念事業 綾部市中筋小児童が測量体験 グラウンドに実物光明寺二王門

出席した来賓が地域の



完成した大山崎さくらの里保育園  
子育てを支  
援する同園  
の発展を期  
待する祝辞  
を贈った。  
コスト  
レドの中  
嶋一浩代表  
取締役高  
塚工務店  
福本凡人代  
表取締役社  
長には山内  
理事長から  
感謝状が贈  
られた。



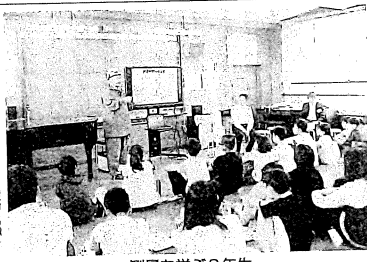
挨拶する滝下会長

子供たちに測量への  
関心を高めてもらおう  
と、(社)京都府測量  
設計業協会(滝下亮好  
会長)は29日、綾部市

計  
測  
協  
会  
設  
立



の中筋小学校で2019  
年度測量体験学習を  
実施した。  
同校グラウンドで6  
年生の児童約50人が



測量を学ぶ6年生



完成した「国宝光明寺二王門」を囲み記念撮影

標柱の除幕式を行った  
また、児童が  
寺二王門の  
実物大の絵  
を白線で描  
き、児童と  
ともに記念  
撮影した。  
体験学習は、京測協  
が6月3日の「測量の  
日」を記念する事業と  
して企画。国土地理院  
や京都府が後援し、今  
年で12回目。京測協の  
花村浩司氏が実行委員  
長、会員約80人が講師  
を務めた。今年度は近  
代測量事業が開始され  
150年を迎える記念  
の年で、近代測量15  
0年記念事業としても  
実施した。



測量機器を体験する児童たち

午前9時前、大教室  
に集まった児童を前に  
滝下会長は「今日はと  
ても珍しい体験ができ  
ると思います。不思議  
に思うことは周りの大  
人に聞いて良い一日に  
してほしい」と挨拶。  
同校の山口剛校長は  
「この日の体験はとても  
貴重な体験です。感謝  
の気持ちを忘れず一日  
を楽しみましょう」と  
呼びかけた。京都府か  
らは府中丹東土木事務  
所の磯岩潮所長が訪れ  
「仕事をするとき初め  
にするのは測量。色ん  
な道具を使って図るの  
は楽しい。今日一日楽  
しんでください」とし  
た。  
続いて国土地理院近  
畿地方測量部の森田和  
幸氏が「測量と地図の  
お話」と題して講演。  
南極に上陸した体験な  
どを紹介するとともに、  
地図の種類や測量技術  
が世の中どのようにし  
て使われているか説明し  
た。  
体験学習は、▽私た  
ちの学校は地球のどこ  
コーナー▽歩測コー  
ナー▽距離(ボール投  
げ)コーナー▽高さト  
ランシットコーナー▽  
高さレベルコーナー▽  
GPSで地球を描く  
コーナー▽国宝光明寺  
二王門を描くコーナー  
など8つのプログラム  
が用意された。  
「私たちの学校は地球  
のどこコーナー」では、  
京測協が寄贈した学校  
の位置を示す標柱の除

幕式を行い、滝下会長  
らと児童の代表が記念  
撮影。  
「歩測コーナー」と「距  
離(ボール投げ)コー  
ナー」では、児童が20  
mの距離を何歩歩いた  
かを数え一歩の幅を割  
り出したあと、ボール  
を投げて落ちた場所ま  
でを測り、歩測と測量  
機器測定とでどれくら  
いの誤差が出るかを学  
んだ。  
「高さトランシット  
コーナー」では、校舎  
の屋上などの高さが目  
で見ると、測量機器  
を使った場合とどれ  
だけ違うかを体験。  
「高さレベルコー  
ナー」では、水平ライ  
ナーを見る専用機器の測  
量機器(レベル)を見て  
高さを図る体験を実施。  
「GPSで地球を描く  
コーナー」では、GPS  
Sを携帯しながら歩き、  
その軌道をパソコンに  
還元して絵を描く作業  
を行った。  
「国宝光明寺二王門を  
描くコーナー」では、  
会員が測量機器を操作  
して実物大の二王門を  
グラウンドに描く様子  
を見学。完成した舞台  
を囲み、全員で記念撮  
影を行った。  
最後に表彰式があり、  
優秀な成績を取った児  
童をはじめ参加者全員  
に記念品を贈呈。改田  
邦子教頭や児童の代表  
が体験学習の感想を述  
べ、京測協の取り組み  
に感謝の気持ちを表し

た。

GPSの使い方を体験する児童たち（綾部市で）



## GPS活用 「測量」体験

綾部の児童

測量の日（6月3日）を  
前に、綾部市立中筋小で29

日、測量の体験学習が行われ、6年生約50人が機器で高さを測るなどして理解を深めた。

府測量設計業協会の会員約80人が指導。児童たちは全地球測位システム（GPS）を持ってグラウンドに

描いた「令和」の文字や絵に沿って歩き、GPSデータを基に軌跡をパソコン画面に表示するなどした。

グラウンドには市内にある光明寺の国宝「二王門」も実物大で描かれ、参加者で記念写真に収まった。